

# 【山梨県】南アルプス市地域農業再生協議会

方法



## 協議会の概要

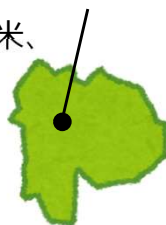
申請件数・確認面積：64件、  
72ha

主な申請品目：麦、大豆、加工用米、  
野菜

協議会事務局：市役所

経安主担当者：市職員1名、  
派遣社員2名

山梨県  
南アルプス市



## 現在の現地確認方法の導入経緯

- ・現地確認業務の負担軽減のため、山梨県と連携し、実証的にタブレット端末を導入

タブレットを用いた確認の様子 →



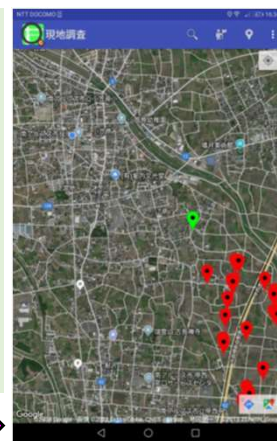
## 現地確認の方法（対象筆数：834筆）

	導入前（H29年度まで）	現在（H30年度から）
方法	紙面印刷した地図を携帯し現地確認を行う	タブレット端末を携帯し現地確認を行う
確認者	市職員	市職員
時期・回数	7・8月 約14日間程度	7・8月 約5日間程度
手順	①地図の作成 ②立札の配布 ③現地確認 ④データ整理	①NOSAIから水田データの提供 ②タブレットへ水田データ取込 ③現地確認 ④PCへデータ（現地確認結果）取込
費用 （掲載不可）	現地確認費用	導入費用（※初年度のみ） 運用費用（毎年必要）

## 導入の効果（メリット）

- ・費用削減
- ・労力削減
- ・ナビ機能によりほ場案内人が不要
- ・GPS機能により正確なほ場特定が容易
- ・カメラ機能によりほ場状態の写真整理が容易
- ・確認結果がタブレット上で修正可能

タブレットの表示画面 →



## 課題・問題点（デメリット）

- ・水田データを取り込む必要があるため、6月中下旬までには対象ほ場の確定が必須
- ・分筆等にはすぐに対応できない（旧地番との確認が必要）
- ・基盤整備等の仮地番も旧地番の確認が必要
- ・麦等収穫が早い作物の確認には間に合わない
- ・日光の下ではタブレット画面が見えにくい

日光の下で画面が見えづらい様子 →

